



NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会

MANO a MANO

～「mano a mano」とはスペイン語で「手から手へ」という意味です～

会員数	616人
コメディカル	475人
医師	141人

《目次》	
糖尿病の発症予防と進展阻止をめざして	理事 石田 均…Page1
平成17年度決算報告	Page2
調理実習の開催情報	Page3
年間スケジュール	Page4

糖尿病の発症予防と進展阻止をめざして

当研究会理事 杏林大学医学部第三内科 石田 均

わが国での糖尿病患者数の増加は爆発的であり今や止まることを知りません。したがって国民の健康維持のためには、糖尿病そのものの発症を予防することや、もし発症したとしても病状の進展を阻止する治療戦略を組むことが必要となります。

御存知のように糖尿病の本態は慢性の高血糖ですから、診断基準も当然のことながら血糖値にもとづいて策定されています。しかしながら問題のあることに、未だ糖尿病とは診断されるに至っていない「境界型」の症例の方々においても、すでに糖尿病の背景にある病態として知られている①インスリン抵抗性（インスリンの血糖降下作用がうまく発揮できない状態）や②インスリン分泌不全（膵臓のβ細胞からのインスリン分泌が少ない状態）が存在している事実が明らかとなって来ました。また困ったことに、高脂血症や高血圧を有する方々の割合も多いことがわかっています。そして空腹時の血糖値が126mg/dl未満であったとしても、食後の高血糖が高ければ、心筋梗塞などの心血管イベントに基づく死亡率が高くなる事実が、欧米の国々のみならずわが国においても明らかにされています。

ですから、この様な方々について糖尿病への移行を防ぐこと、あるいは出来る限りその病態を正常へと戻すことが重要です。この様な治療戦略のなかでの食事・運動療法の重要性は言うまでもありません。糖尿病療養指導の成否がわが国の将来を左右すると言っても過言ではありません。また最近の臨床研究により、食後高血糖改善薬のα-グルコシダーゼ阻害薬、インスリン抵抗性を改善させるビグアナイド薬やチアゾリジン誘導体、そして高血圧に対する降圧薬のACE阻害薬やアンギオテンシンⅡ受容体ブロッカーが糖尿病の発症リスクを抑え、かつ心血管イベントによる死亡率を低下させる事実も明らかにされてきています。したがって糖尿病治療において、コメディカルスタッフによる療養指導と医師による治療をうまく組み合わせることがまさに重要となります。私共の杏林大学医学部付属病院では昨年10月より糖尿病・内分泌・代謝内科外来に新たに「糖尿病療養指導外来」を併設して、有機的な診療を進めています。

糖尿病患者数の増加は世界各国に共通した問題ですが、いまだにその増加を食い止め、かつ減少に転じることに成功した国はありません。わが国がその第一号として名乗りをあげることを願って止みません。



平成18年度 西東京臨床糖尿病研究会総会

平成18年6月24日（土）多摩社会教育会館にて開催されました。

●表彰式 ～ 功労賞 ～

西東京地区の糖尿病診療や療養指導士育成に大きく検討した方々を表彰し、功績をたたえることを目的に「顕彰委員会」の設置が提案され、先日開かれた理事会にて了承されました。第一回は下記の5名が選出され、平成18年6月24日（土）の総会にて表彰式を挙行了いたしました。

近藤先生はS61年より「西東京臨床糖尿病研究会」初代世話人として糖尿病地域医療システムを作られ、当研究会の基礎を創られました。伊藤先生は第二代会世話人として、コメディカルを含めた研究会へとさらなる発展へご尽力されました。お二人の先生は多くの糖尿病患者さんの診療をなさりながら、NPO法人となった本研究会でも精力的に活動されています。

また、堀口先生、西村先生、井上先生は看護師、管理栄養士、薬剤師のそれぞれの立場から長年にわたり患者さんの指導にあたられると同時に、西東京糖尿病療養指導士の研修・認定事業の発展・定着に貢献されています。

今後の顕彰委員会の活動につきましては、詳細を当会報等を通じて順次ご報告いたします。

顕彰委員長 新川橋病院 調 進一郎



近藤医院
近藤 甲斐夫先生



伊藤内科小児科クリニック
伊藤 眞一先生



近藤医院
堀口 ハル子先生



緑風荘病院
西村 一弘先生



東京医科大学
八王子医療センター薬剤部
井上 岳先生

●決議事項

—議案—

第1号議案 平成17年度事業報告

直接事業（例会・総会・糖尿病療養指導士認定事業・管理栄養士勉強会・電話相談・調理実習・糖尿病療養プログラム・ステップアップセミナー・CDE研究会）

間接事業（14の間接事業）

第2号議案 平成18年度事業計画

第3号議案 平成17年度決算報告

第4号議案 平成18年予算案

上記の議案について、平成18年6月24日（土）総会員数616名中、定款第30条に定める定足数三分の一を満たす329名の出席（表決委任者269名を含む）により審議をいたしました。

結果につきましては、4議案とも出席者全員一致により可決されました事をご報告いたします。決算報告及び事業報告の詳細につきましては、別紙決算資料をご覧くださいませお願いいたします。

また、この総会に先立ち、当研究会監事、伊藤慎一先生及び近藤甲斐夫先生による監査が平成18年6月21日（水）に行われました。

監査の結果

- (1) 財産目録、貸借対照表及び収支計算書は、法令及び定款に従い、特定非営利法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 事業報告書は、記載すべき事項を正しく示しており、指摘すべき事項は認められません。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

研究会等の開催情報

第6回 糖尿病食を作って食べて学ぶ会(患者様向け)

日 時：平成18年7月28日(金) 10:30～

会 場：立川市女性総合センター アイム 5階 調理室

[当日のメニュー] ☆ うなぎ丼 ☆ とろろ昆布汁 ☆ ヘルシー肉じゃが
☆ サラダ ☆ ヨーグルトゼリーブルーベリーソースがけ

調理実習は当研究会会員の管理栄養士が指導にあたります

- ・管理栄養士が作成した糖尿病食のメニューと一緒に調理します。
- ・食事について気軽にご相談いただけるよい機会になります。

※参加費は1,500円（当日会場にてお支払いください。）

参加をご希望の患者様がいらっしゃいましたら、事務局までお問い合わせください。

事務局電話番号：042-322-7468



年間スケジュール

・ 第5回西東京CDE研究会総会

開催日 : 平成18年 7月1日(土) 15:30~19:00

(開場15:00~)

場所 : 府中グリーンプラザ けやきホール (京王線府中駅より徒歩1分)

参加費 : 1,000円(当日受付も可能です。)

詳細 : 下記URLから、当研究会HPをご覧ください。

<http://www.nishitokyo-dm.net/whatsnew.html>

※日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位 : 1単位

※西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位 : 7単位

・ 第20回多摩糖尿病チーム医療研究会

事前申込みは不要です。直接会場までお越しください。

開催日 : 平成18年 7月13日(木) 19:00~21:00

場所 : 東京都労政会館 第7会議室(国分寺駅南口徒歩4分)

参加費 : 会費:500円(半年会費として)

「糖尿病チーム医療を支える非常勤スタッフのチカラ」

※軽食のご用意をさせて頂いております。

※西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位 : 2単位

・ 第3回西東京糖尿病療養指導プログラム

開催日 : 平成18年 7月23日(日)

場所 : 明治大学 和泉キャンパス 第二校舎

杉並区永福1-9-1(京王線・井の頭線/明大前駅下車徒歩5分)

参加費 : 4,000円

申込方法 : 当研究会HPから資料請求して下さい。

(<http://www.nishitokyo-dm.net/whatsnew.html>)

申込締切り : 定員になり次第

※西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位:10単位

※日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位《1群》

・ 第73回 実践栄養指導勉強会

事前申込みは不要です。直接会場までお越しください。

開催日時 : 平成18年 7月18日(火) 18:45~20:15

場所 : 緑風荘病院併設グリーンボイス 1階デイルーム(東村山市萩山町3-31-2)

参加費 : 実践栄養指導勉強会会員:無料、非会員:500円

『肝臓病の基礎知識 —臨床現場における栄養管理—』

※西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位 : 2単位

NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会

〒185-0012 国分寺市本町3-10-22 オリエンツプラザ 402 TEL:042(322)7468 FAX:042(322)7478

<http://www.nishitokyo-dm.net> E-mail:w_tokyo_dm_net@ybb.ne.jp